

スギメムシガ

スギの芽や松ぼっくりに潜るイモムシ（幼虫）。最大長約5mm。頭は黄色。頭は黒い。体は淡い緑色、頭のすぐ後の背面と尾端背面とが黒い。

本州ではスギの害虫とされる。北海道では南部に分布するが、多発記録はない。

【学名】 *Argyresthia anthocephala*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , メムシガ科 (Argyresthiidae)

【分布】 北海道（南部）, 本州, 四国, 九州.

【生態】

宿主：スギの芽や球果.

本州では年2～3世代、道内では不明。成虫が6月に採れている。

【文献】

1984. 鈴木重孝, 駒井古実. 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類. 北海道林業試験場報告, 22: 85-129. (分類, 形態, 生態)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

スギメムシガ shogarui/sugimemu/
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/12/27.